



なが
おか

市議会だより

169号

2009.11.1

編集・発行 / 長岡市議会

ホームページで議会の録画映像が見られます → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/>



直江兼続奉納「御戸開天満天神」(三島地域)

三島地域逆谷地内の日吉神社では、以前から「兼続奉納の木像が神社の宝物としてある」と語り継がれていました。昨年5月、宮司の星野さんが神社の御神宝庫の扉を開けたところ、この天神像と兼続が奉納したことを示す木札が発見されました。像は現在、寛益寺にて公開中です。

長岡市・川口町合併協議会の 設置議案を賛成多数で可決

9月定例会最終日、川口町との合併協議会を設置する議案を賛成多数で可決しました。また、合併協議会の負担金や情報システムデータ移行経費など、合併に係る経費約3億770万円を含む補正予算も併せて可決しました。

ではこれまで全議員による議員協議会の場をはじめ、任意に合併研究会、合併調査研究会を立ち上げるなど、精力的に協議を重ねてきました。これまでの協議経過については、4ページをご覧ください。

これら合併関係の議案については、「財政問題の協議や市民への情報提供が不十分だ」、「議決をしていない40万人都市構想を持ち出すことに賛成できない」などの反対意見に対し、「中越地域が一致団結するための第一歩だ」との賛成意見が述べられ、それぞれ反対、賛成の討論が行われました。

飛び地や財政といった、1次、2次合併にはない問題を抱えた今回の合併について対応するため、市議会



「長岡市・川口町合併協議会の設置について」を賛成33人、反対4人の賛成多数で可決しました。

天皇陛下御即位二十年を祝す 賀詞に関する決議を全会一致で可決

天皇陛下に おかせられましたは御即位されてから二十年という慶賀すべき年をお迎えに なられましたここに 長岡市議会は 市民を代表して 謹んで お祝い申し上げます

平成二十一年九月二十九日
長岡市議会

天皇陛下は今年ご即位20年を迎えられました。天皇皇后両陛下は、中越大地震時に被災した住民を励まされると同時に、とても大きな勇気を与えてくださいました。また、昨年は復興状況のご視察にお越しくださり、これまでの労苦に対して、ねぎらいのお言葉をかけていただきました。

9月定例会最終日、この決議案を満場の拍手とともに全会一致で可決しました。

9月定例会

9人が一般質問

一般質問の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。



大平 美恵子 議員 (2期・無所属の会)

地方分権の加速を見据えた 長岡市の子ども家庭 支援について

問 地方分権が加速していく中、市が住民ニーズに応えるためには、国の制度を待つだけでなく、市自らが最大限の工夫と努力をする必要がある。そこで、母子家庭だけでなく、昨今の景気悪化により深刻な事態に陥っている父子家庭にも市独自の支援が必要だと思いませんか。

答 男女平等の理念からも父子家庭への支援の必要性は十分理解している。こうした中、今は母子家庭、父子家庭を区別す



古川原 直人 議員 (2期・市民クラブ)

寺泊地域の振興について

問 平成23年度の通水を目指し、大津分水路の可動堰の改修工事が進んでいるが、可動堰より下流の改修計画はどのような状況か。

答 可動堰より下流の改修計画については、昨年6月に国土交通省北陸地方整備局から、分水路の拡幅に向けて抜本的な整備を行うという方針が示された。これを受け、北陸地方整備局は「信濃川水系河川整備計画」の策定作業を進めており、大津分水路の改修もその中で位置付けられる予定だと聞いている。市としては、

分水路河口部の拡幅を含む改修事業が早期に完成するよう強く働きかけていきたい。

問 寺泊水族博物館は建設から30年近くがたち、老朽化してきているが、今後の整備方針は。

答 寺泊水族博物館には、毎年10万人以上が訪れており、市の教育や観光にとって優れた資源であると同時に、地域振興にとっても必要不可欠な施設だと考えている。今後のあり方については、水族館に求められる癒やしや学びなどの要素をどのように取り入れていくかを水族博物館協議会で検討し始めたところであり、寺泊らしい特徴のある水族博物館となるよう論議を深めていきたい。なお、現在の建物については、22年度に建物診断を実施する予定で、その結果も踏まえて総合的に検討していきたい。



家老 洋 議員 (3期・しんし新政クラブ)

地震災害時における自助・共助・公助のあり方について

問 住宅の耐震改修は補助金をもらっても相当お金がかかる。そこで、家全体の耐震改修ではなく、例えば寝室のみを耐震補強する耐震シェルター工事などに對して補助制度を創設してはどうか。

答 市では、高齢者などの災害弱者を対象に、1階の寝室などを部分補強する場合に工事費用の一部を助成している。現在、老人会などを中心に説明会を開催しながら普及啓発を行っているが、今後も市民からこの制度を有効に



長谷川 一作 議員 (2期・市民クラブ)

守門岳から日本海、自然環境を生かした 地域振興策について

問 八十里越道中の集守神社にある塩の宮を、地域活性化のために活用してはどうか。

答 地域活性化には、地域資源を活用した地域の取り組みが重要である。塩の宮のある上塩谷地区では、これまで地域づくり団体が特産品の販売を行うなど、積極的に活動してきた。市としては、「地域コミュニティ事業補助金」や、地域資源を掘り起こし交流につなげる「とっておきの長岡まちめぐり」などの事業を通じ

て、こうした団体の自主的な活動を支援していきたい。

問 栃尾地域出身で、大阪の財界で活躍した外山脩造を多くの人に周知させるとともに、市の教育活動で生かしてほしいかどうか。また、市指定文化財でもある外山家庭園の維持管理に、市の支援をお願いしたいかどうか。

答 功績の周知には地元での盛り上がりがあったからこそである。7月には外山の功績をたたえる市民の集いが盛大に開催されたが、今後も一層の活動を期待している。なお、教育活動に生かすという点では、社会科の副読本で彼の功績を紹介するなどの方法が考えられる。また、外山家庭園の維持管理は現在、所有者が行っている。市としては所有者の意向を伺いながら、庭園が良好な状態で後世に伝えられるよう、指導や助言といった支援をしていきたい。



中村 耕一 議員 (1期・公明党)

未婚者支援について

問 本市の世代別の未婚率は現状をどう認識しているか。

答 昭和60年と平成17年の未婚率を比較すると、25〜29歳男性は58.0%から67.6%に上昇、女性も29.5%から53.2%に上昇している。また、30〜34歳でも男性が25.0%から43.4%に、女性が8.9%から25.8%にそれぞれ上昇している。これは全国平均を下回ってはいるが、20年前に比較すると相当急激に未婚率が上昇しており、市としても問題だと考えている。

問 未婚者の増加に対処するため、本市も結婚支援を検討すべきと思うがどうか。

答 現在、民間サイトでインターネットを利用した出会い支援やお見合いパーティーなど、かなり発達している。従って、もし行政が政策を立てるとしても、恐らく民間に委託することになると思う。しかし、山間部で居住環境が悪く出会いがない、農家で嫁がないなどの場合には、行政の対策が必要になる。そのような場合は、道路などの整備により居住環境の格差をなくしたり、出会いの場をつくるなどの支援をしていきたい。未婚者支援の問題は大変な問題なので、今後も引き続き研究、検討をしていきたい。

●その他の質問
・父子家庭支援について
・Hiibワクチンの公費助成について

もっと詳しい内容が知りたい方へ
一般質問の詳細は、11月下旬発行予定の会議録、またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。
■会議録のあるところ
○市役所
・市民情報ラウンジ
・情報公開コーナー
・議会図書室
○各支所
○市民センター
○市内図書館 など

※外山脩造(1842-1916) …アサヒビールや阪神電鉄などの著名な会社を次々と設立し、「明治の関西財閥の基礎を築いた」と言われる。起業家として名声を得る以前は、河井継之助にかわいがられ、河井の死を看取った一人でもある。

問 児童・生徒の増加に対応するための養護学校校舎の増築計画はどこまで進んでいるか。また、新しい教育課程への対応やグラウンド整備については、どのような計画で進めていくのか。

答 施設整備に当たっては、教室確保が最優先のため、現在のグラウンドに校舎を増築する。増築が完了するまでは、現校舎で最大限工夫をし、入学希望者全員の受け入れに努めたい。代わりとなるグラウンドの整備は、用地取得も視野に入れ、増築完了予



細井 良雄 議員
(1期・共産党市議団)

市立養護学校の増築整備について

問 小国・寺泊・栃尾地域では、通学バスのバス停が遠くにあるため、そこまで保護者が送迎している。この事態を一刻も早く解消してほしいがどうか。

答 通学バスは、長岡地域や合併地域にかかわらず、いずれの路線もバス停方式をとっており、保護者がバス停まで送迎している。「合併地域の中でバス停を」という要望については、乗車時間が長くなると、子どもの身体的、情緒的負担が大きくなることから、大変難しいと考えている。

●その他の質問
・中越地震の復興基金事業について

定の平成23年度末以降を検討している。また、教育課程の見直しでは、これまでの単一課程ではなく、複数のコースを編成する方向で検討している。特に卒業後の進路につながるよう、作業学習や現場実習を重視したいと考えている。

問 第1次、第2次合併の検証を早期に行うべきと考えらるがどうか。

答 共存共栄のまちづくりを進めていく上で、合併の検証はしっかりやりたいと考えており、今年度中に検証作業に着手したいと考えている。

問 地方交付税は平成12年度をピークに全国ベースで減少を続けているが、この傾向をどうとらえているか。

答 地方財政計画総額の減少に伴って、地方交付税総額



笠井 則雄 議員
(3期・共産党市議団)

まちづくりと財政問題について

問 合併から10年間は財政上の特例で、合併前の市町村の普通交付税を下回らない額が保障されているが、その後段階的に減り、16年目からは一本化される。一本化されたとき、普通交付税はどのくらい減ると考えているか。

答 20年度の場合、普通交付税のうち約48億円が合併の特例による増加分として算定されている。一本化となる33年度の額については、具体的に推測することは難しいが、一定の減少は避けられないと考えている。

●その他の質問
・衆議院選挙結果について
・雇用の拡充と地域経済活性化について

も減少してきたとらえている。その要因としては、交付税の基となる国税5税の減少や、三位一体改革において総額的大幅な抑制が行われたことによるのではないかと考えている。

高齢者・障害者向けトイレ設置の補助について



諸橋 虎雄 議員
(2期・共産党市議団)

問 高齢者・障害者向けに住宅を改造する場合の補助には、介護保険制度の住宅改修費補助事業のほか、本市にも独自の補助事業がある。しかし、高齢者・障害者向けトイレの新設は、いずれの制度からも対象外となっている。トイレの新設も補助の対象とすべきだと思いませんか。

答 本市の補助制度は、新潟県の「高齢者・障害者向け安心住まいの整備補助事業実施要綱」を基に補助金を受けて実施している。県の要綱では、補助金の

交付対象となる工事はトイレの「改造」と規定されているので、本市も同様の考え方で進めてきた。しかし、申請者のさまざまな家庭事情に十分配慮しながら対応を行っている。トイレ「新設」の補助については、他市の状況などを調査した上で研究していきたい。

問 本市の制度は、県の制度の補助対象に準じているとのことだが、県の補助制度にもトイレの新設を加えてもらえるよう要望してほしいがどうか。

答 高齢者や障害者が住み慣れた自宅で生活するための住環境を整備することは重要なことだと考えている。従って、県に対しても要望をしていきたいと考えている。

●その他の質問
・農業問題について
・最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票の開始日について

高齢者・障害者向けに住宅を改造する場合の補助には、介護保険制度の住宅改修費補助事業のほか、本市にも独自の補助事業がある。しかし、高齢者・障害者向けトイレの新設は、いずれの制度からも対象外となっている。トイレの新設も補助の対象とすべきだと思いませんか。

農山村地域の生活維持について



関 充夫 議員
(1期・市民クラブ)

問 少子化や核家族化、高齢者の一人暮らしなどの問題に対処するためにも、税制面で優遇措置を設けるなどして、多世代居住を進める施策をとるべきだと考えるがどうか。

答 現在、固定資産税では、2世帯住宅など構造上独立した区画を持つ住宅がある敷地については、その区画の数に応じて軽減をする優遇措置がとられている。しかし、多世代居住に対して市独自でこれ以上の優遇措置を設けることは地方税法上、困難であ

る。なお、3世代以上同居などの要件を満たす住宅を新築する場合には、市独自の制度として新築資金の融資を行っている。機会をとらえてこうした制度を市民に周知していきたい。

問 合併地域には、商店街の衰退により日常の買い回り品の購入ができないなどの状況が生じている。地域住民の日常生活を支えるためにも、商業施設に助成制度を設けたり、誘致を支援するなどの対策が必要ではないか。

答 合併地域において、身近なものを買うことのできる商業施設が欲しいという要望があることは承知しているが、商業施設の立地誘導に公的助成を行うことは是非や事業の継続性などを考えると課題も多いと思っている。各地域の商業機能の維持・増進については、今後さまざまな角度から研究していきたい。

少子化や核家族化、高齢者の一人暮らしなどの問題に対処するためにも、税制面で優遇措置を設けるなどして、多世代居住を進める施策をとるべきだと考えるがどうか。

市議会の活動報告

- 議会運営委員会
 - 7月21日 7月臨時会の運営方針について
 - 8月10日 9月定例会の会期の決定について
 - 9月4日 9月定例会の運営方針について
 - 9月10日 9月定例会招集日の運営方針について
 - 9月29日 9月定例会最終日の運営方針について
- 中越地区議員合同研修会
 - 8月22日 見附市にて開催
- 議員協議会
 - 8月10日 シティホールの実施設計について
 - 8月24日 長岡市と川口町の今後の合併協議について
 - 10月19日 長岡市と川口町の合併協議の経過について
- 合併調査研究委員会
 - 8月10日 川口町の財政問題について、任意合併協議会の報告
 - 9月10日 合併に関する総括的な意見交換、議員定数と任期について
- 委員協議会

各常任委員会に関係する外郭団体の経営状況について報告を受けました

 - 9月18日 文教福祉委員協議会
 - 9月24日 産業市民委員協議会
 - 9月25日 総務委員協議会

議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は公開されています。お気軽においでください。

- 本会議

会議開始	午後1時から
受付	午後0時30分から。本庁舎7階傍聴受付にて
定員	65人（車いす利用2人分含む）
内容	一般質問のほか、議案の説明や採決などが行われます。
- 委員会

会議開始	午前10時から
受付	午前8時30分から。本庁舎6階議会事務局にて
定員	7人
内容	議案の内容について詳しく審議されるほか、各部局の事業などに対する質問が行われます。

定例会は3・6・9・12月に開催されます。詳しい日程はホームページや市政だよりに掲載されます。

※地方財政計画…内閣が作成する、翌年度の地方公共団体の歳入歳出総額の見込額に関する書類のこと。

川口町との合併を徹底研究

9月定例会最終日、川口町と合併協議会を立ち上げることを可決しました。この議決に至るまで、市議会ではさまざまな角度から検討を重ねてきました。その中で最後まで懸案事項となっていたのは、飛び地と財政の問題でした。今号ではこれまでの協議の一部をご紹介します。



第5回合併調査研究委員会の様子（9月10日）

合併の理念は

議員 今回の合併の理念は何か。
市 新潟市に対して中越地域が埋没しないように、小千谷市や見附市も含め、中越地域が将来的に大同団結していこうという40万人都市構想が基本的な理念である。

なぜ飛び地をつつまで

議員 あえて飛び地のところと合併するという行政の姿勢に納得していない市民がいる。全国にも飛び地の事例はあるが、それは合併協議の中で結果的に飛び地になったのであって、今回の川口町の飛び地とは根本的に異なる。なぜ小千谷市を飛び越して川口町なのか。
市 納得していない市民は、飛び地合併に対して反対なのではなく、なぜ飛び地までして合併するのかと疑問に感じているのだろう。従って市民には、将来的に小千谷市も含めて中越地域が団結し、40万人都市を目指すということを、しっかりと説明していく必要があると思っている。

合併に伴う負担は

議員 これまで、川口町の地方債残高により、本市と合併した場合、市民1人当たり約1万9千円程度の負担増になると説明されてきた。それがいつからか地方債残高の実質負担は20億円だから、1人当たり3千円の増にしかならないという説明になった。なぜ実質負担という表現に変わったのかをきちんと市民に説明するべきではないか。
市 実質的にどのくらいの負担があるのかを言うのは当然のこと。そもそも過疎地域と本市のような過疎地域でない自治体では、交付税措置（国の財政支援）の面で大きな違いがある。このように財政運営が異なるのに、そのまま説明するとかえって混乱が生じる。従って、国の財政支援を加味した方がより実態に合っていると思う。なお、川口町の財政は確実に改善している。

トータルでの合併経費は

議員 川口町との合併には、市民1人当たりの借入金金が3千円増加するほかに、

合併をめぐる市議会での協議経過

- 平成20年
2月15日 議員協議会（川口町の財政健全化努力について）
5月30日 議員研修会（川口町のこれまでの経緯について）
12月22日 議員協議会（川口町の財政健全化に向けた取り組みについて）
- 平成21年
2月16日 議員合併研究会①（川口町との合併問題について）
3月4日 議員合併研究会②（川口町との合併問題について）
3月17日 議員協議会（川口町との合併協議について）
3月19日 議員合併研究会③（川口町との合併問題について）
3月27日 議員協議会（川口町との合併協議について）
4月27日 川口町現地視察（ホテルサンローラ・川口温泉、道の駅「あぐりの里」など）
5月12日 議員協議会（川口町との合併協議について）
6月18日 合併調査研究委員会①（第1回任意合併協議会の報告）
6月29日 合併調査研究委員会②（第2回任意合併協議会の報告）
7月21日 合併調査研究委員会③（川口町の財政問題について、第3回任意合併協議会の報告）
8月10日 合併調査研究委員会④（川口町の財政問題について、第4回任意合併協議会の報告）
8月24日 議員協議会（長岡市と川口町の今後の合併協議について）
長岡市・川口町議会合併連絡会（会長・副会長の選出、会設置の目的について）
9月10日 合併調査研究委員会⑤（合併に関する総括的な意見交換、議員定数と任期について）
9月18日 長岡市・川口町議会合併連絡会（議員定数と任期について）
10月19日 議員協議会（長岡市と川口町の合併協議の経過について）

まちづくりの面でのメリットは

議員 合併によって本市にはどのようなメリットがあるか。
市 川口町の地域資源と温泉やホテル、観光ルートの開発ができればと思っっている。また、川口町は中越大地震の震源地である。従って、山古志地域などとともに、震災からの創造的復興を一体的に進めることができると考えている。

合併調査研究委員会の意見

9月10日の第5回合併調査研究委員会では、各委員がこれまでの委員会協議を総括した意見を述べました。
●今後の対応として、中核市や40万人都市などへの動きは重要である。
●飛び地、文化の違いなどは心配ない。予定どおり3月末までに合併してほしい。
●財政状況は改善に向かっていて、飛び地も支障はない。前向きに進むべき。
●合併すれば川口町の宝を本市で生かせるだろう。しかし、川口町民には合併してもすぐに公共料金が下がるわけではないという点も理解してほしい。
●これまでの議論はプラス面ばかりが強調され、マイナス面が出てこなかった。

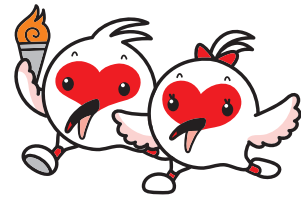


川口温泉のプール（写真上）や古民家・遊亀庵（写真左）などを現地視察（4月27日）

また、小千谷市の存在は大きいので、今後慎重に議論を進めるべきだ。
●飛び地は問題がある。合併の経過や状況変化について、丁寧な説明が必要だ。
●これまでの合併にないくらい真摯に議論されてきた。市民に対しても説明ができる段階になった。合併に向け、前に進めてほしい。
●合併は川口町民が望んでいることでもあり、本市が大きくなるのはいいことだ。川口町民には、合併による変化も受け止めてもらい、長岡市民として一緒にやっていきたい。
●合併を進めることに異論はない。ただし、合併前の駆け込み的な事業の実施は困る。また、資料や数字を明確、透明にするともに、十分協議する時間も確保してほしい。
●川口町が住民投票をしているのだから、本市も市民の意向を聞き、もっと慎重に対応すべきだ。
●合併に関しては進めてもらいたいのが、合併の時期には固執すべきでない。また、40万人都市構想が前面に出ていることには異論がある。
●財政、飛び地の問題は認識しているが、地方分権、40万人都市を目指すためにも合併には大きなメリットがある。



スポーツ振興議員連盟が国体ボランティアに参加しました



45年ぶりの新潟国体。その国体に、スポーツ振興議員連盟の議員が、ボランティアとして参加しました。当日は、市民ボランティアや大会スタッフと協力して、飲み物や弁当を配ったり、ごみ収集をしたり、警備をしたりして大会をサポートしました。また、この日に向けて、事前に会場を視察したり、担当部署と綿密な打ち合わせを行うなど、早い段階から準備を進め、大会当日は選手や会場にきた

お客さまから喜んでもらえるよう、精一杯のおもてなしを行いました。

スポーツ振興議員連盟は、この新潟国体開催を契機に平成15年に発足しました。会派の枠を越えてほぼ全議員が加入しており、今回の国体の支援のほか、市民の健康づくりなどにも取り組んでいます。今後も引き続き、本市のさらなるスポーツ振興に向けて頑張ります！

スポーツ振興議員連盟の主な活動内容

- ・新潟国体の支援事業
- ・市民のスポーツ事業振興の協力
- ・スポーツ施設の整備拡充に対する協力
- ・市民の健康づくりやスポーツに関する啓発事業
- ・競技力向上に関わる支援事業 など



気分は長岡藩士!?

戊辰戦争長岡城奪還時の長岡藩隊を忠実に再現した米百俵まつり「越後長岡時代行列」。10月3日、このイベントに議員も参加しました。

小坂井副議長が長岡藩家老・河井継之助を演じたほか、そのほかの議員も侍や山伏に扮して、市内各地を練り歩きました。



1



2

写真1：ほら貝を吹きながら市内を練り歩き

写真2：河井継之助役の小坂井副議長がガトリング砲を連射

議員の年賀状は禁止されています

市議会議員は、公職選挙法によって、選挙区内にある人に対して答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことやお歳暮などを贈ることが禁止されています。ご理解をお願いいたします。

意見書

市民生活に重要なことで、それが国や県の仕事である場合、市の力だけでは解決できないことがあります。このようなときには、関係機関に「意見書」を提出したりして、積極的な解決を求めています。全文は市議会ホームページをご覧ください。

経済対策に係る補正予算を確実に実行し、 万全な景気対策を求めることに関する意見書（抜粋）

政府の経済対策による効果がようやくあらわれ始めたこの時期において、事業予算の執行停止や凍結が行われれば、明るさが見え始めてきた我が国経済がたちまち失速することが懸念されます。

また、既に多くの地方自治体において事業化に向けた作業が進められていることにかんがみれば、事業の執行停止や予算凍結がなされれば大きな影響が生じ、何よりも失業中の労働者や各種支援対策を期待している多くの国民が困惑することとなります。

よって、国会および政府におかれては、これまでの経済対策に係る補正予算を確実に実行するとともに、今後ともさらなる景気対策の実施に向けて万全な措置を講じるよう、強く要望いたします。

米国とのFTA交渉に係る我が国農業の堅持に関する意見書（抜粋）

総選挙において民主党は政権公約で、米国との間で貿易・投資の自由化を進めるFTAの「締結」を打ち出し、その後「交渉を促進」と訂正しました。

米国とのFTA交渉において、仮に関税が撤廃されれば、我が国の農業が崩壊するばかりか、国内の農村、ひいては地域経済社会が成り立たなくなるほど、致命的な大打撃を受けることが必至であります。

よって、国会および政府におかれては、我が国の食料自給率を確保することからも、米国とのFTA問題については、我が国農業の機能維持とさらなる発展が図れるよう十分な配慮を行うよう、強く要望いたします。

新潟県重度心身障害者医療費助成事業に関する意見書（抜粋）

近年、国の福祉政策は、障害者に対し自己負担増の方向となっており、それに加え、障害者の雇用難および景気の悪化により、さらに就労が難しくなってきました。また、年金生活者および無職者（被扶養者を含む）にとっては、他の医療制度の負担増により生活が大変厳しくなっている状態であります。

このような状況の中、現在、県で実施されている重度心身障害者医療費助成事業（県障）は、重度障害者にとって大変救いとなっている制度であります。

よって、県におかれては、これからも本事業を後退させずに、現状維持で継続されるよう、強く要望いたします。

※ F T A…自由貿易協定。2国間などで関税を相互に原則撤廃することを取り決める協定。

9月定例会 議決結果

9月定例会は、9月10日から9月29日までの20日間の会期で開かれました。

この定例会では、9人の議員が市政に対する一般質問を行いました。また、市長提出議案33件、議員提出議案4件、請願2件を審査し、それぞれ右表（会派別議案賛否一覧表）のとおり決まりました。

また、7月21日に開かれた7月臨時会では、緊急雇用創出事業を含む、補正額約5億7,776万円の一般会計補正予算などを可決しました。

会派別議案賛否一覧表

9月定例会

○：議案に対して賛成 △：議案に対して継続審査 ×：議案に対して反対

議案	会派名 ()は所属議員数	市民クラブ	民成クラブ	しんし新政クラブ	無所属の会	公明党	共産党市議団	関貴志議員	五十嵐清光議員	議決結果
		(16)	(5)	(5)	(3)	(3)	(3)			
市長提出議案 補正予算	平成21年度長岡市一般会計 平成21年度長岡市介護保険事業特別会計 平成21年度長岡市後期高齢者医療事業特別会計	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
	平成21年度長岡市一般会計（最終日追加分）	○	○	○	○	○	×	○	×	原案可決
	平成21年度長岡市ガス事業清算特別会計 ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案 条例 一部改正	長岡市ガス事業の民営化に伴う水道ガス事業関係条例の整理に関する条例 ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	長岡市国民健康保険条例等 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案 その他	長岡市・川口町合併協議会の設置	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
	市道路線の認定、変更および廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	契約の締結（長岡市民防災公園管理棟建築工事） ほか6件 財産の取得（子育ての駅ちびっこ広場（仮称）） ほか2件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案 決算 人 事	決算の認定（2件） 平成20年度一般会計・特別会計 平成20年度水道事業会計・ガス事業会計	△	△	△	△	△	△	△	△	※1 継続審査
議員提出議案 意見書・決議	教育委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案 意見書・決議	天皇陛下御即位20年を祝す賀詞に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	経済対策に係る補正予算を確実に実行し、万全な景気対策を求めることに関する意見書	○	×	○	×	○	×	×	×	原案可決
	米国とのFTA交渉に係る我が国農業の堅持に関する意見書	○	×	○	※2	○	○	○	×	原案可決
議員提出議案 請願	新潟県重度心身障害者医療費助成事業に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求めることに関する請願 新潟県重度心身障害者医療費助成事業に関する請願	×	○	×	○	×	○	○	○	不採択 採択

※1 決算の認定については、11月4～6日に開催予定の決算審査特別委員会で審査します。

※2 西澤議員、桑原議員は賛成、大平議員は反対

7月臨時会

市長提出議案 補正予算	平成21年度長岡市一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案 その他	契約の締結（長岡駅大手口地下自転車駐車場等建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

各種行政委員の選任・推薦に同意

9月29日の本会議最終日において、次の方を選任・推薦することに同意しました。

○教育委員会委員

内藤 博子 氏（再任）

○人権擁護委員

佐藤 恭一 氏（新任）

星野アヤ子 氏（新任）

田中 雅子 氏（新任）

会派別所属議員

市民クラブ	酒井 正春	丸山 勝総
	高野 正義	関 正史
	松井 一男	加藤 尚登
	丸山 広司	関 充夫
	池田 彌	鈴木 正一
民成クラブ	藤田 芳雄	杉本 輝榮
	加藤 一康	小坂井和夫
	恩田 正夫	
	永井 亮一	水科 三郎
	杵渕 俊久	山田 省吾
しんし新政クラブ	家老 洋	
無所属の会	西澤 信勝	大平美恵子
	桑原 望	
公明党	藤井 達徳	中村 耕一
	山田保一郎	
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
	細井 良雄	
無所属	関 貴志	
	五十嵐清光	

決算審査特別委員会の委員が決まりました

9月10日の本会議で、平成20年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査する「決算審査特別委員会」が設置され、19人の委員が選任されました。

決算審査特別委員会は11月4日(水)～6日(金)に開催予定です。

(◎委員長 ○副委員長)

◎大地 正幸 ○水科 三郎
加藤 尚登 山田 省吾 杵渕 俊久 丸山 広司
鈴木 正一 杉本 輝榮 長谷川一作 関 正史
大平美恵子 丸山 勝総 藤井 達徳 諸橋 虎雄
長谷川一夫 藤田 芳雄 山田保一郎 五十嵐清光
小坂井和夫

ホームページで議会活動を発信中!

6月から市議会ホームページに「議会ダイジェスト」コーナーを新しくつけました。

ここでは定例会の内容をはじめ、定例会がないときの議会の活動なども紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。

9月10日 9月定例会が開会
9月29日までの20日間の会期で、9月定例会が開会しました。この定例会では、川口町との合併協議会設置に関する議案などが審議されます。また、平成20年度の決算を審査する「決算審査特別委員会」が本日設置され、11月4日(水)～6日(金)までの3日間の日程で開催される予定です。
9月定例会の日程はこちら

9月10日 第5回 合併調査研究委員会を開催
これまでの合併協議の経緯的な意見交換が行われました。各委員が今後の合併協議の方向性や合併の是非などについて意見を述べたほか、委員同士による活発な議論が行われました。
また、合併した場合の議員の定数と任期については、1次・2次合併のときと同様の定数特例(川口町の増員選挙権を有する1人を除く、平成23年4月の一般選挙時点は定数を現在の38人に減らす)が望ましいという意見が全会派共通の意見として出されました。

アクセス方法 長岡市ホームページ ▶ 市議会 ▶ 議会ダイジェスト
URL <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/digest/>